

北海道の地域SNS・実験サイト

“どっとねっと”の軌跡

～ 手応え豊かなコミュニティ創造のために ～

この冊子は、地域SNSの可能性を探った“どっとねっと”の準備と、
1年半のサイト実験の概要をまとめたものです。



平成20年5月

財団法人 北海道開発協会

はじめに

この冊子は、当協会の開発調査総合研究所が自主研究事業として、近年注目を集めているSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の実験サイト「どっとねっと」に関して行ってきた準備と運営の足取りを記録したものです。SNSにはmixi（ミクシィ）に代表される全国的なものほかに、わたしたちが取り組んだ「どっとねっと」のように都道府県や自治体レベルのローカルなものがありますが、「どっとねっと」は特に北海道全域をカバーする地域SNSとして、イメージづくり、ページ構成、会員募集など、基本システム以外のすべての項目について、手探りの検討をしながら進めてきたものです。正味の運営期間はわずかでしたが、その間に、地域SNSがこれからの地域コミュニケーションの役に立ちそうだという期待が生まれ、その予感のようなものが会員の漸増と緩やかなコミュニケーションの継続につながっているものと思われま

す。このようなことから、日記などの書き込み傾向やアクセスの様子を分析し、これからSNSをたちあげる方々の参考にもなるように整理してみました。いかんせん、「どっとねっと」は正式オープンしてから日が浅く、平成20年3月末で参加者300名あまりの小所帯ですが、中高年が中心となった手応えと落ち着きのあるコミュニティのようなものができあがり、参加者自身が、これから少子高齢社会を迎える地域にとって何らかの役に立ちそうだという実感をもたれているようです。そのため、予定の実験期間を終了するに際して強い継続の要望が出され、この4月からは「ローコスト」と「参加者協働」を基本スタイルとして運営する仕組みを取り入れ、新しいステージに入ることになったものです。

この「どっとねっと」の立ち上げに当たっては、北海道大学大学院情報科学研究科の本間利久教授、同情報基盤センターの南弘征准教授に、研究会やWGにおいて数々の貴重なアドバイスを頂きました。ここに厚くお礼を申し上げる次第です。

また、当財団の主旨に賛同され、この実験サイトに参加してネット上のコミュニティ構築に携わってきた多くの方々にも、この場を借りて心からお礼を申し上げるとともに、今後の参加者協働スタイルの運営について今までどおりのご協力をお願いするものです。

最後になりますが、この冊子が地域SNSによるコミュニケーション向上になんらかのお役立つことができれば幸いです。

平成20年5月

北海道SNS「どっとねっと」事務局

(財)北海道開発協会 開発調査総合研究所

目 次

はじめに

第 1 章 地域と SNS の出会い

1-1 はじめに ~北海道の現状と ICT への期待~	4
1-2 mixi と地域 SNS へのそもそもの着目~	4
1-3 追い風になった総務省等の取り組み	6
1-4 公益法人としての SNS に対する注目	14

第 2 章 実験サイト「どっとねっと」の立ち上げを振り返る

2-1 システム、ソフト ~XOOPS から OpenPNE へ~	17
2-2 必要十分なデザイン	19
2-3 参加者募集方法	22
2-4 安全対策	24
2-5 規約とプライバシーポリシー	25

第 3 章 「どっとねっと」の日常を分析する

3-1 「どっとねっと」の経過と総括	32
3-2 ネットコミュニティの現状と地域利用	36
3-3 アクセスの推移から読む活性化のヒント	41
3-4 日記内容分析	52
3-5 システムの過不足に関する反省と診断	59
3-6 参加者の感想・参加者とのシステムに関する意見交換	65
3-7 アンケートと参加者の声	66

第 4 章 SNS は地域にどう関われるのか

4-1 地域活性化への寄与と問題解決の有効性	72
4-2 ソーシャルキャピタルと地域 SNS	75

第5章 地域SNSのシステムを用意する

5-1 Open PNE (オープンピーネ)の採用とメリット	78
5-2 SNSサイトの構築手順	79

第6章 参加者が語る実験サイト「どっとねっと」

6-1 懇談会議事録概要	88
6-2 アンケート結果	103

参考 SNSによるビジネスの可能性

1. インターネット広告について	105
2. インターネット広告の動向	107
3. 巨大SNSサイトの広告展開	108
4. 中小規模SNSサイトの傾向	113

* 各章のとりまとめ・執筆は「どっとねっと」事務局の草苅健・齊藤新人（以上、北海道開発協会）および協力スタッフの佐藤敦久、小椋護の両氏が担当しました。